

平成24年生駒市教育委員会第8回定例会会議録

1 日 時 平成24年8月28日(火) 午後3時～午後5時23分

2 場 所 生駒市役所 401・402会議室

3 審査事項

(1) 平成24年度(平成23年度対象)生駒市教育委員会の活動の点検及び評価について

(2) 平成24年生駒市議会第5回(9月)定例会提出議案の意見について

4 出席委員

委員長 中井公人

委員(委員長職務代理者) 村田浩子

委員 平本重次

教育長 早川英雄

5 事務局職員出席者

教育総務部長 峯島 妙

生涯学習部長 川口 忠良

教育総務課長 真銅 宏

教育指導課長 伊東 英治

学校給食センター所長 平田 治樹

生涯学習課長 西野 敦

施設管理課長 上埜 秀樹

図書館長 向田 真理子

スポーツ振興課長 中田 和也

教育総務課課長補佐 吉岡 秀高

学校給食センター副所長 山口 力

生涯学習課課長補佐 錦 好見

図書館南分館長 森 直美

図書館北分館長 平澤 佐千代

教育指導課指導主事 吉川 祐一

教育指導課指導主事 堀田 勝

教育総務課(書記) 村田 充弘

教育総務課(書記) 松井 恵

6 傍聴者 なし

午後 3 時 開会

○中井委員長：ただ今から、平成 24 年生駒市教育委員会第 8 回定例会を開催いたします。

~~~~~

○中井委員長：日程第 1、前回会議録の承認を議題といたします。

会議録につきましては、別紙のとおり調製しておりますが、いかがでございますか。

《 異議なし 》

○中井委員長：ご異議なしと認め、別紙のとおり調製することに決定いたしました。ご署名をお願いいたします。

《 署名 》

~~~~~

○中井委員長：続きまして、日程第 2、本日の定例会の会期及び会議時間の決定を議題といたします。

本日の定例会の会期は本日一日とし、会議時間を本日午後 3 時から午後 5 時までとすることを提案いたしますが、いかがでございますか。

《 異議なし 》

○中井委員長：ご異議なしと認め、第 8 回定例会の会期は本日一日とし、会議時間を午後 3 時から午後 5 時までとすることに決定いたしました。

~~~~~

○中井委員長：続きまして、日程第 3、諸般の報告について、各部庶務担当課長から報告を受けます。教育総務部について、教育総務課、真銅課長、お願いいたします。

《 教育総務課長 報告 》

○中井委員長：生涯学習部について、生涯学習課、西野課長、お願いします。

《 生涯学習課長 報告 》

~~~~~

○中井委員長：続きまして、日程第 4、報告第 16 号、平成 24 年度（平成 23 年度対象）生駒市教育委員会の活動の点検及び評価についてを議題といたします。

教育総務課、真銅課長から報告を受けます。

○真銅課長：日程第 4、報告第 16 号、平成 24 年度（平成 23 年度対象）生駒市教育

委員会の活動の点検及び評価につきまして、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第6条第5号の規定によりご説明させていただきます。

本件につきましては、6月定例会で、教育委員会として自己点検を行っていただいたところでございます。

その後、8月10日付けで、外部の点検評価委員2名の方々から、別冊報告書の2ページから4ページにありますとおり、意見書の提出がありましたので、ご報告するものでございます。

なお、本日ご承認をいただきましたら、市議会9月定例会に提出したいと考えておりました。取り扱いといたしましては、教育委員会からの報告として本会議の諸般報告の中で報告され、決算審査特別委員会の資料などになるものと考えております。

また、市民の皆様には、今後ホームページ等で公表したいと考えております。

以上でございます。よろしくお願いたします。

○中井委員長：点検評価委員の方々からいただいたご意見について、いくつか申し上げます。

まず、(1)教育委員会について、『市民に対する教育委員会のPRの機会を増やし、市民との接点を強化することにより青少年の健全育成の機運が盛り上がることを期待したい。』とのお言葉をいただきましたが、これにつきましては、これから取り組むべき重要な課題と考えております。

また、(2)教育総務部①学校教育については、平成20年度からの小学1年生の30人学級及び平成23年度からの小学2年生の35人学級を非常に高く評価していただき、ありがたいことと思います。

また、教育相談について、『教職員・保護者とスクールカウンセラーとの連携強化が望まれる。』とのことでしたが、いじめ等の問題が社会で大きく取り上げられている中で、生駒市としましても、さらなる支援に努めていただきたいと思います。

学校施設については、平成23年度をもって小・中学校の耐震化事業が完了したことを評価していただいております。

②学校給食については、ご意見をいただいたとおり、給食センターと学校との連携事業をさらに進めていただきたいと思います。

次に、(3)生涯学習部①生涯学習については、近隣大学の協力を得た「市民カレッジ」を評価していただいております。

②文化財保護については、郷土資料館のことに触れていただいております。私も、資料館の前を通る度、着々と事業を進めていただいている様子を見ますと、資料館の完成を大変待ち遠しく感じます。

③スポーツ振興につきましては、スポーツ振興基本計画に基づく施策に積極的に取り組まれるよう、より一層お願いしたいと思います。

④図書館では、全校配置された学校図書館司書と図書館との連携を高く評価いただいております。

全体を見ますと、概ね良い評価をいただいているようです。指摘があった点に関しましては、今後努力していただきたいと思います。

○平本委員：いじめによる児童・生徒の自殺が連日報道される中、今、教育委員会の在り方が問われています。学校とより強い連携体制をとるなど、この委員会が果たす役割をもう一度考え、委員会をより活性化させていく必要があると思います。

また、点検評価委員の方々からは、教育委員の欠員についてご指摘を受けていますが、この機会に学校関係者ではない委員を推薦し、忌憚のない意見を反映してはどうでしょうか。

最後に、点検評価報告書の内容についてですが、11ページの(3)学習指導・生徒指導についてですが、報告内容の中で生徒指導についてあまり触れられていないように感じました。来年度以降は、もう少し詳しくご報告いただきたいと思います。

○伊東課長：点検評価報告書の内容につきましては、少人数学級編制や外国語活動などの学習指導の内容を中心に作成いたしました。実際には、いじめ対策などの対応も進めておりますので、平成24年度の活動報告には生徒指導の内容を加えてまいります。

○峯島部長：生徒指導につきましては、15ページの(7)教育相談・研修のところで、スクールカウンセラー等による生徒指導にも触れております。

点検評価報告書につきましては、報告書の様式を見直し、内容を刷新することも考えておりますので、今後は、より分かりやすい報告書の作成に向けて検討してまいります。

○中井委員長：より詳しく、かつ簡潔な資料を作成するのは大変かと思いますが、様式の変更も含め、報告書の内容の充実についてご検討いただきたいと思います。

また、先ほど平本委員からお話がありました、教育委員の欠員につきましては、より教育委員会を機能させるために、元教職員以外の市民や保護者の方で、民意をより反映できるような人選を行っていただきたいと思います。

ほかにございませんか。

○村田委員：私も平本委員と同じく、報道を見聞きする度に、教育委員会の在り方を考えさせられます。教育委員会をただPRするだけではなく、教育委員会が存在する意味を知っていただくことが重要であると思います。

また、保護者の方の中には、学校と教育委員会の間に距離を感じている方もいるようですので、教育委員会・学校・保護者間の壁を取り払うということも重要な課題であると思います。

最後に、どの教育現場でもゆとりや余裕がないと言われる中で、教育委員会として人的・制度的支援を行う必要があると考えます。

○早川教育長：村田委員のおっしゃるように、教育委員会と学校がより密に連携を取り合い、この委員会でも、もっと学校教育の現状を聞く必要があると思います。教育指導課も、学校が抱える問題や施策の中身を今まで以上に報告しようという姿勢を持っておりますので、委員の皆様には、足りない施策への助言や指導などをいただきたいと思っております。

また、生涯学習部につきましても、多くの施設が指定管理者制度に移行になりましたので、今後出てくる課題等について、この教育委員会の意見を出していきたいと考えております。

私も、教育委員会事務局の責任者として、事務局の動きや施策を把握し、発信していくよう努めてまいります。

教育委員の欠員の問題でございますが、教育委員は、議会の同意を得て市長が任命することとなっておりますので、教育委員会が任命することはできませんが、これまで何名か推薦はしてきました。いろいろな事情で現在も欠員のままととなっておりますが、近々、市長と教育委員との会談の機会もございますので、教育委員会の思いを伝えていきたいと思っております。

○中井委員長：教育委員会の在り方については、事務局からの意見も伝えていただけるとありがたいと思います。

また、学校と教育委員会との壁の話がありましたが、実際に教育現場で働いている先生方の声を聞き反映して対応していく姿勢をより大切にしなければならないと思っております。

ほかにございませんか。

○平本委員：教員の年齢層についてですが、生駒市は中間年齢層の先生が少なくなっているのでしょうか。中間層の先生がいないと、生徒への指導方法や保護者の方々との接し方などに関する若手の先生方への指導体制が弱くなってしまいます。

実際の学校の現状をよく見ていただき、そのような事態が起こらないよう配慮していただきたいと思っております。

○中井委員長：学校と教育委員会の間だけでなく、学校の先生間の連携にも注意していく必要がありますね。

ほかにございませんか。

それでは、本案につきましては、報告のとおり承認いたすことにご異議ございませんか。

〈 異議なし 〉

○中井委員長：ご異議なしと認めます。よって日程第4、報告第16号、平成24年度（平成23年度対象）生駒市教育委員会の活動の点検及び評価については、報告のとおり

り承認いたすことに決しました。

~~~~~

○中井委員長：続きまして、日程第5、議案第17号、平成24年生駒市議会第5回（9月）定例会提出議案の意見についてを議題といたします。

平成24年度生駒市一般会計補正予算（第2回）について、各担当課から説明を受けます。

まず、教育総務課、真銅課長、お願いします。

○真銅課長：それでは日程第5、議案第17号、平成24年生駒市議会第5回定例会提出議案の意見につきまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、教育委員会の意見を求めるものでございます。

提出議案は、平成24年度生駒市一般会計補正予算（第2回）でございます。

このうち、教育総務部の所管分について、ご説明させていただきます。

今回の補正予算につきましては、文部科学省のスーパーエコスクール実証事業に要する経費及び小・中学校、幼稚園の施設整備で、緊急を要する工事及び備品購入を行うため、増額補正を行うものでございます。

資料1、歳入歳出予算事項別明細書の1ページ目の歳入をご覧ください。

款14国庫支出金、項3委託金、目3教育費委託金で計上しておりますスーパーエコスクール事業委託金423万3千円の補正でございます。

今年度、公立学校施設におきまして、省エネの徹底と太陽光発電などの創エネ、蓄エネ等の技術を組み合わせることで、年間のエネルギー消費を実質ゼロにすることを目指すゼロエネルギー化推進のための文部科学省の実証事業、スーパーエコスクール事業の募集がありまして、これに応募いたしました本市鹿ノ台中学校の事業が採択されました。

全国で3箇所が採択されまして、生駒市のほかに京都市と福島県矢吹町が選ばれております。今月8日に、生駒市の採択が決定したとの連絡が国からございまして、この事業に係ります費用について、歳入及び歳出で必要な予算計上を行うものでございます。

この事業は3箇年事業でございまして、平成24年度はワークショップによる基本計画の策定、平成25年度は基本設計・実施設計の実施、平成26年度はエコ改修工事を行います。

本年度につきましては、学校の温熱環境に関する調査委託料など、合わせて423万3千円を計上しておりまして、これに要する費用全額は、国からの委託金として措置されます。

次に、資料1の2ページをご覧ください。

款8教育費、項2小学校費、目3小学校施設整備費ですが、俵口小学校中館東の屋上防水全面改修工事として276万7千円、遊具点検の結果を受けまして、生駒南小学校の老朽化した遊具の撤去及び取替えのための備品購入費として、242万4千円を計上しております。

また、3ページ、項3中学校費、目3中学校施設整備費ですが、生駒北中学校の屋内

運動場陸屋根の防水改修などの工事請負費として252万円を計上しております。

最後に、項4幼稚園費、目2幼稚園施設整備費でございますが、遊具点検の結果をふまえ、老朽化している遊具を撤去し、新設遊具を設置するため、404万2千円の増額補正を行うものでございます。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○中井委員長：ただ今ご説明いただきましたが、ご質問等ございませんか。

○村田委員：スーパーエコスクール事業について、環境測定は業者に委託するのでしょうか。

○真銅課長：かなり専門的な調査でございますので、対応可能な業者に調査を委託する予定です。

○村田委員：改修前後の環境測定結果等の報告内容は発表されるのでしょうか。

○真銅課長：改修前と改修後の数値までは求められていないのですが、今の状況が改修後にどのように変わったかにつきまして、文科省のホームページ等で紹介していきたいとのことです。

○中井委員長：全国で3箇所採択されたとのことですが、応募に当たっては、生駒市が自ら手を挙げたのですか。それとも、県や文科省等から提案されたのでしょうか。

○真銅課長：この事業につきましては、国で当初から公募されていたものでございまして、2箇所が先に採択された後、1箇所追加募集された際に、生駒市が応募いたしました。

具体的に市内のどの学校を対象とするかにつきましては、太陽光発電設備の設置に耐える屋上改修を行っておりました鹿ノ台中学校を挙げさせていただきました。

○中井委員長：自ら手を挙げる先見性は素晴らしいと思います。生駒市が奈良県内だけでなく全国から注目される事業ですので、是非力を入れて取り組んでいただきたいと思っています。

ほかにご覧いませんか。

それでは続きまして、生涯学習課、西野課長、お願いします。

○西野課長：それでは、生涯学習課が所管する補正予算について説明させていただきます。

資料1、3ページ、款8教育費、項5社会教育費、目9コミュニティセンター、節11

需用費でございますが、生駒市コミュニティセンター2階及び4階会議室の間仕切りであるスライディングウォールが経年劣化により破損している箇所が多く見られるため、安全性にも欠けることから部品の交換を行うものでございます。

次に、同款項目、節15工事請負費でございますが、この補正につきましては、生駒市コミュニティセンター2階206会議室の空調設備が経年劣化による風量不足のため、今回更新を行う経費でございます。

これら修繕及び施設整備工事に係る増額補正を行うものでございまして、内訳といたしましては、修繕料といたしまして53万9千円の増額補正、工事請負費692万2千円のうち生涯学習課の所管として192万2千円の増額補正をそれぞれお願いするものでございます。なお、企画政策課所管分の工事請負費につきましては、このうち500万円の増額補正でございまして、生駒セイセイビル3階みっきランド、ハローワーク及び4階廊下部分の空調機器取替工事を行うものでございます。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○中井委員長：ただ今ご報告いただきましたが、何かご質問、ご意見等ございませんか。それでは続きまして、スポーツ振興課、中田課長、お願いします。

○中田課長：続きまして、スポーツ振興課の所管いたします平成24年度一般会計補正予算について説明させていただきます。

資料1の4ページ中段をお願いします。

款8教育費、項6保健体育費、目2体育施設費、節18備品購入費でございますが、北大和野球場の夜間照明及び総合公園体育館の照明制御装置が経年劣化により点灯しないなどの不具合を生じていることから、照明制御装置の交換に要する費用を備品購入費として、652万4千円の増額補正をお願いするものでございます。

以上でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○中井委員長：ただ今ご説明いただきましたが、皆様から何かご質問等ございませんか。それでは、本案につきましては、原案のとおり可決いたすことにご異議ございませんか。

《 異議なし 》

○中井委員長：ご異議なしと認めます。よって日程第5、議案第17号、平成24年生駒市議会第5回（9月）定例会提出議案の意見については、原案のとおり可決いたすことに決しました。

~~~~~

○中井委員長：本日の審議事項は以上でございますが、ほかに連絡事項等ございませんか。

○伊東課長：平成24年4月17日に実施されました全国学力・学習状況調査の調査結果の概要につきまして、報告いたします。

小学校6年生、中学校3年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査の結果が8月8日に公表されました。奈良県では、小学校は県全体の45.6%に当たる94校、中学校は64.4%に当たる67校が抽出対象校となり、生駒市では、小学校8校、中学校6校が抽出校となり、参加いたしました。

今回の調査の、教科に関する調査では、従来の国語、算数・数学のA問題・B問題に加えて理科が初めて実施されました。また、学習状況を問う児童生徒質問紙調査、学校質問紙調査も例年どおり実施されました。

教科に関する調査において、生駒市は3教科ともに全国や奈良県の結果を大きく上回り、本調査が始まった平成19年度から同様の状況が見られます。また、全国的に、主として知識に関する問題に比べ、主として活用に関する問題が10ポイント以上低くなっており、基礎的な知識は概ね身に付いているが、それらを活用して考える力に課題がある状況になってはいますが、この点は生駒市も同じ傾向にあります。

次に、生活環境や学習環境等に関する質問紙調査の結果について報告します。

小学校では、朝食や就寝時刻など基本的な生活習慣は良く、家の人と話をしたり手伝いをしたりしている児童が比較的多いという結果となっています。一方、中学校では、就寝時刻が遅かったり不規則であったりする生徒が多くなっています。

また、奈良県や生駒市の課題であります規範意識についても改善の方向にあります。「人の気持ちが分かる人間になりたい」、「人の役に立つ人間になりたい」と答えた生徒の割合は、全国や奈良県と同じかそれを上回る結果となりました。

学校の授業以外に勉強している時間は奈良県や全国を大きく上回っています。

今回初めて行われた理科では、得点は高かったものの、中学校で「好き」、「大切」、「よく分かる」と答えた生徒が全国や奈良県平均を下回っていますから、今後授業内容や指導方法の工夫改善を図ることが必要であります。

生駒市では、これらの結果を踏まえて、児童生徒の学力や生活習慣、行動や考え方について今後さらに分析しまして、課題改善に向けて学校と連携を図りながら、教育活動の充実に努めてまいります。

○中井委員長：新聞で全国学力・学習状況調査についての記事を見ますと、秋田県や福井県の結果が良かった理由として、2点挙げられていました。

1つ目は、早くから少人数学級編成を導入していること、2つ目は、家庭の教育力の高さです。

生駒市も、この2点に該当していると思いますが、今後も、より一層少人数学級等を進めていただきたいと思っております。

○伊東課長：家庭の教育力の向上につきましては、家庭環境の安定が第一条件ですので、教育面の対策だけではなく、行政施策として市全体で取り組むべき課題と考えております。

す。

○村田委員：生駒市の平均点が良かったことは大変うれしく思っております。しかし、点数の分布が正規分布ではなく、低い点数と高い点数に二分化していないかと不安なのですが、その点はいかがですか。

○伊東課長：各点数の人数分布につきましては、全国や県の状況と比較しましても正規分布に近くなっておりまして、全体としての点数の開き具合は小さくなっております。

○早川教育長：今回の調査では、国語、算数・数学、理科の3教科についてのテストが実施されましたが、それだけで学力が分かるのでしょうか。学力とは、規範意識や学習状況を含めて総合的に判断・評価されるべきものであると思います。

これは生駒市にとっても大きな課題となっておりますが、奈良県は体力や規範意識が比較的低いとされています。ですから、今回の3教科の学力調査結果だけに捉われるのは危険であると思います。

○中井委員長：普段の授業でも、テストの点数だけで判断せず、総合的に評価することが重要ですね。

ほかにございませんか。ないようでしたら、私のほうから発議させていただきます。

学校の状況報告について、教育指導課からご報告願います。

なお、本件は、個人情報を含むため、非公開とさせていただきますがご異議ございませんか。

《 異議なし 》

○中井委員長：それでは、これより非公開とさせていただきますので、本件関係職員以外の方はご退室願います。暫時、休憩します。

《 暫時休憩・職員退室 》

以降、非公開

~~~~~

○中井委員長：ほかにございませんか。

それでは、本日はこれにて閉会いたします。

~~~~~

午後5時23分 閉会